

豊田景気実感調査

Viewing over Our Toyota's Economic Condition



第19号

発行日 2020.12.7

令和2年11月調査結果 “豊田の景況感、5月に底打ちも、回復ペースは全国比緩やか”

	現状判断D I				先行き判断D I				水準判断D I			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	43.4	51.1	55.3	47.1	38.0	47.1	52.6	42.5	26.1	34.8	34.2	29.9
全国	55.1	53.0	53.8	54.5	49.1	48.3	50.8	49.1	41.4	35.3	34.4	39.3
東海	53.1	—	—	54.1	46.7	—	—	48.3	40.6	—	—	40.1

※全国、東海は内閣府10月調査 【天気図の見方】 D I 値 大きな晴れ：60点以上 / 晴れ：50～60点未満 / 曇：40～50点未満 / 雨：40点未満

令和2年11月 調査結果総括

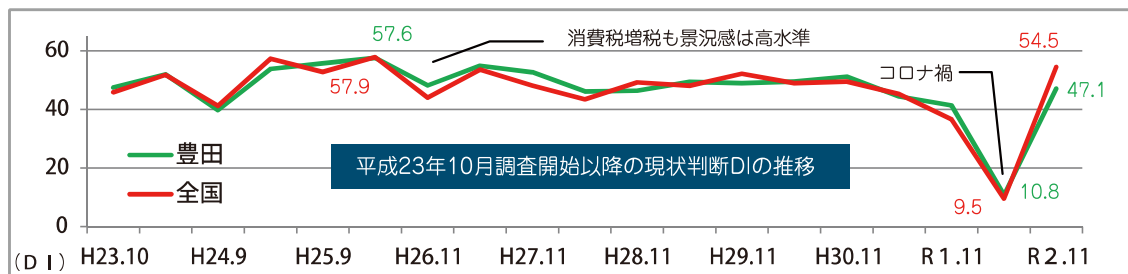
豊田の現状の景況感は、コロナ禍の影響により5月に底を打った後、自動車生産台数の回復などを背景に、全国比緩やかなペースではあるものの、持ち直している。

先行きについては、自動車関連で前向きな状況が確認されるものの、家計部門にてコロナ禍の影響が長引くことを前提とした先行き不透明感を指摘する声が多く、全国比で見ても厳しい見方となっている。

いずれにしろ、今後のコロナ禍の状況次第という見方が過半を占めている。

令和2年11月 特別調査結果

- 所得見直し・お小遣い等は、コロナ禍前の水準には戻っていないものの、改善傾向にあることが確認されています。
- 「消費行動」へのコロナ禍の影響については、「平時と消費行動は変わらない」との回答が7.7%増加していることから、少しずつではありますが、コロナ禍前の水準まで戻りつつあることが確認されています。また、コロナ禍終息後は引き続き「旅行」に行きたいとの回答がダントツの1位となっています。
- GoToキャンペーンについては、GoToトラベルでは利用状況の二極化が見られ、GoToEatでは購入に慎重な様子が窺えました。



1. 調査期間：令和2年11月2日～25日

2. 調査客体：297名（家計/企業/雇用等） うち有効回答：253名 / 有効回答率：85.1%

3. 調査項目：
 ・ 2～3ヶ月前に比べ現在の景気はどう変化したと感じますか？ ⇒ 現状判断D I
 ・ 2～3ヶ月前の景気は現状に比べどう変化すると予想しますか？ ⇒ 先行き判断D I
 ・ 現在の景気的水準をどう判断されますか？ ⇒ 水準判断D I

4. D I 算出方法：

評価段階		5	4	3	2	1
評価	現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
	水準判断	良い	やや良い	どちらでも	やや悪い	悪い
付与点数		1	0.75	0.5	0.25	0

各判断項目毎に、評価段階別の回答者数構成比（100%）を出し、その構成比に上記の付与点数を掛け、合計します。それがD I値です。

本調査は、豊田市に居住または勤務されている個人の方で、家計、企業、雇用の動向を敏感にキャッチ出来る方を対象に、身の周りの景気の実感を聞く調査です。内閣府の「景気ウォッチャー調査」（こちらは毎月実施）に準じて、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協働し半年に1回（5月／11月）実施しています。また、家計は小売、飲食、サービス、住宅、企業は製造、非製造業から成ります。なお、本調査では別に特別調査を実施しています。

<調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。>

<問い合わせ先>
 豊田商工会議所：伊藤
 0565-32-4594
 豊田信用金庫：高橋
 0565-36-1384

現状判断

総括

総合DI (豊田) 悪化



●前回比

- ・総合：良化 (雨→曇)
- ・家計：良化 (雨→曇)
- ・企業：良化 (雨→曇)
- ・雇用：良化 (雨→曇)

●全国比

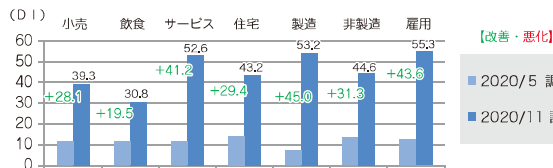
- ・総合：悪化 (優位→劣位)
- ・家計：悪化 (優位→劣位)
- ・企業：悪化 (優位→劣位)
- ・雇用：不変 (優位→優位)

前回比

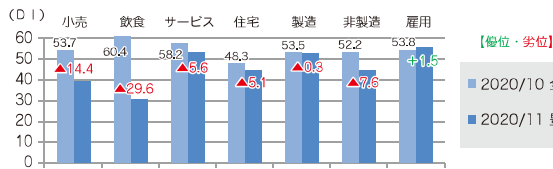
全国比

業種別内訳

全ての部門で大幅に改善も、飲食の改善幅は小さく留まっている。



飲食の全国比劣位が大きく目立つ。GoToEatの効果剥落を懸念。



前回比

全国比

先行き判断

総合DI (豊田) 悪化



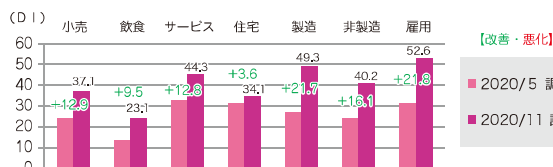
●前回比

- ・総合：良化 (雨→曇)
- ・家計：良化 (雨→曇)
- ・企業：良化 (雨→曇)
- ・雇用：良化 (雨→曇)

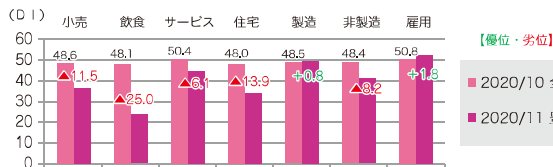
●全国比

- ・総合：悪化 (優位→劣位)
- ・家計：悪化 (優位→劣位)
- ・企業：悪化 (優位→劣位)
- ・雇用：不変 (優位→優位)

全体的に回復も、特に飲食と住宅の先行き見通しに弱さが見られる。



飲食の全国比劣位が目立つものの、製造と雇用は優位となっている。



前回比

全国比

水準判断

総合DI (豊田) 悪化



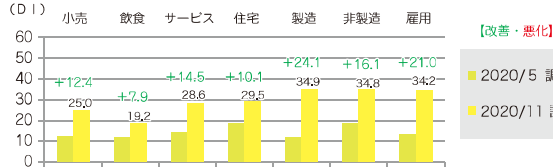
●前回比

- ・総合：不変 (雨→雨)
- ・家計：不変 (雨→雨)
- ・企業：不変 (雨→雨)
- ・雇用：不変 (雨→雨)

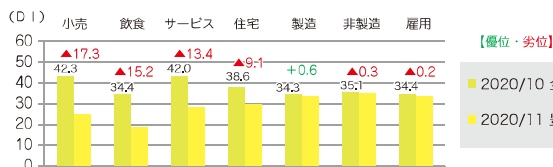
●全国比

- ・総合：悪化 (優位→劣位)
- ・家計：悪化 (優位→劣位)
- ・企業：不変 (劣位→劣位)
- ・雇用：悪化 (優位→劣位)

D I は非常に低位ではあるが、全ての部門での回復は見られる。



製造のみ全国比優位。足元の自動車生産の回復といった声が反映。

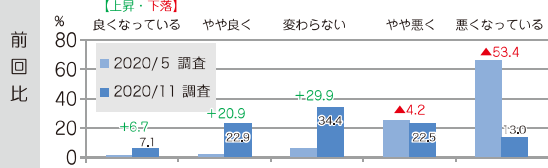


前回比

全国比

評価段階別内訳

“悪化” 傾向の回答から良化方向へ分散シフトしている。



全国比

前回比

全国比

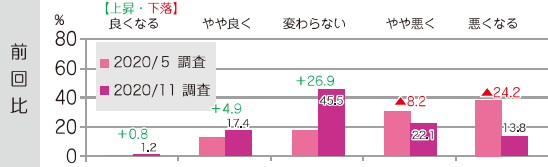
景気モニター生の声

< + : 回復感あり - : 回復感なし >

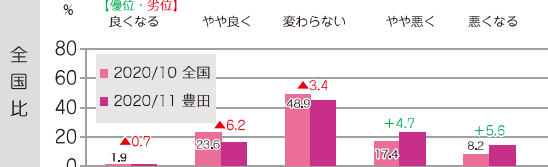
※家計動向=家、企業動向=全、雇用動向=雇、と略

- +：不要不急の外泊や支出を控えていたお客様が、暮らしや住まいの気になる点についてアクションを起こすようになったと感じている。(家/小売・住関連店経営者)
- +：GoToキャンペーンにより予約等が増えている。(家/サービス・旅行代理店従業員)
- +：来場者数が前年対比8割以上を維持している。(家/サービス・ゴルフ場従業員)
- +：売上高、受注量がコロナ禍前に戻りつつある。(企/製造・輸送用機械従業員)
- ：自動車関連は車種により差が出てきている。住宅関連は戸建てが持ち直しているが、大規模物件が止まってしまっている。(企/製造・化学工業経営者)
- ：コロナ禍での売上減少、補助金10万円の好影響の喪失が見られる。(家/小売・一般小売店経営者)
- ：コロナの感染者数と来店数は比例している。(家/飲食・一般レストラン従業員)
- ：製造業の求人は少ない。人材不足である建設・警備・介護の求人が多いが希望者は少ない。派遣求人も減っている。採用枠が少ない。派遣で働いていた方の更新がない。(雇/職業安定所職員)

“悪化” 傾向の回答から良化方向へ分散シフトしている。



先行きを厳しくみる見方は全国を上回っている。



前回比

全国比

前回比

全国比

自由回答：景気モニターからの貴重な声

- ・コロナ禍が終息してほしい。ただ、それだけです。
- ・K I T A R A の空テナントや松坂屋跡地になる場所に、成城石井やディーン&デューラー等の珍しいものを購入できるスーパーを入れてほしいです。
- ・感染防止は大切なことだが、このままでは市内のサービス業関連の店は多くが破綻してしまうと思う。もっと勇気と知恵を振り絞って本当に大変な事業者にもっと支援を豊田市として行って欲しい。
- ・コロナのせいだとは思いますが、夜の街中の寂しさが際立つ。活性化を図るにはみんなの力が必要だと思います。アイデアを集めてみては。
- ・<WE LOVE とよた 応援商品券>を家族人数×5冊ずつ購入しました。そのおかげで通常より金額を気にせずに買い物できます。景気回復につながると思います。
- ・豊田市民に給付金を出してほしい。
- ・商工会議所の方達にサポートして頂いて、コロナウイルスで仕事量が減ったこの機会に、今までチャレンジできなかった事をチャレンジしていきます。

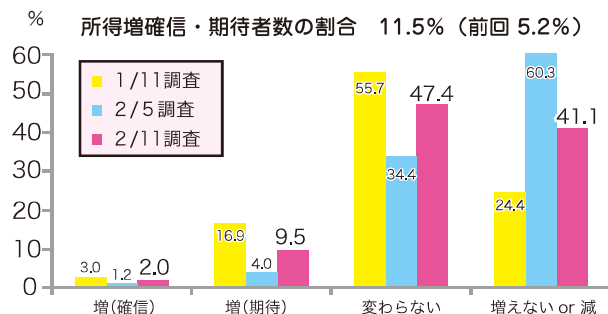
～ 貴重なご意見、ありがとうございました。～

【特別調査】

所得見通し※・消費意欲の調査

※平成24年から調査を継続しています。

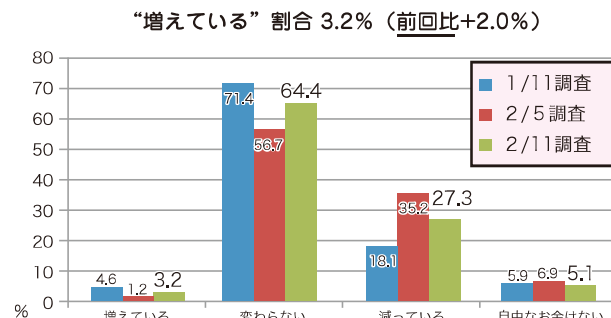
今後、所得は増えていくと思いますか？



所得増への期待感や回復もコロナ禍前には戻らず

「増えないあるいは減る」とのネガティブ回答が大きく減少し、「変わらない」と「増加期待」へシフトしました。コロナ禍の中ではあるものの、所得見通しの先行き不透明感はやや薄らいできた様相です。

自由に使えるお金【小遣い等】は増えましたか？

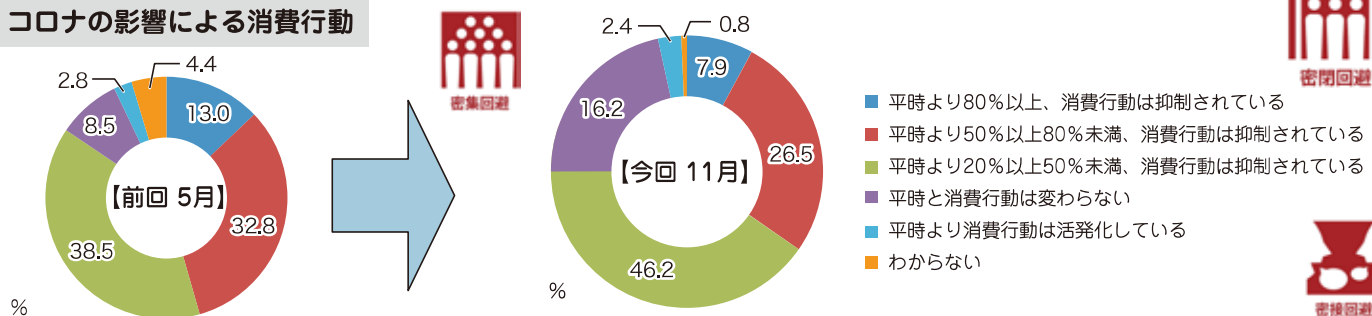


「お小遣い」に対するコロナ禍の影響はやや沈静化

コロナ禍前の水準には届きませんが、「減っている」との回答が7.9p減少し「変わらない」にシフトしました。「増えている」との回答は依然低位であり、引き続き消費意欲の停滞が懸念されます。

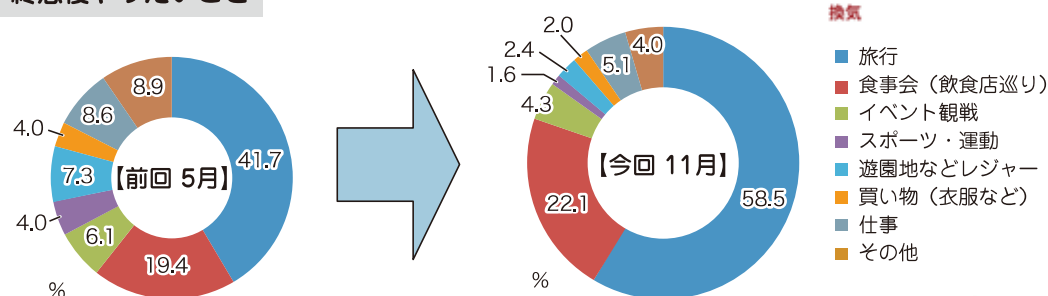
新型コロナウイルス感染症の「消費行動」への影響調査

コロナの影響による消費行動



緊急事態宣言下での5月調査時点では、84.3%の方が平時に比べて消費行動は抑制されているという結果でしたが、今回は80.6%とわずかではありますが消費行動の抑制は改善されている様子です。抑制度合いも、「平時より20%以上50%未満の抑制」との回答が7.7%増加し、また、「平時と変わらない」との回答も前回比で7.7%増加しており、コロナ禍ではあるものの、消費行動は平時の水準に少しずつではありますが戻りつつあることが確認されました。

終息後やりたいこと

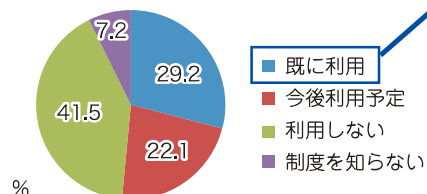


終息後やりたいことは前回5月調査時点と同じく「旅行」がダントツの1位となりました。回答割合も16.8%も増加しています。その他には、家族が集まってのお祝い事、帰省や食事などの回答がいくつか見られ、大切な人を守るために皆様が家族との時間を現在においても少なからず我慢していることが感じられる結果となりました。

GoToキャンペーン利用状況



GoToトラベルの利用に関しては、景気モニターの方の態度の二極化が見られます。



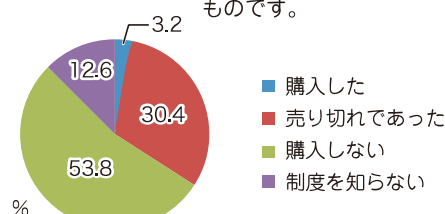
具体的にいつ、何処に、何泊？

メインシナリオとしては、感染者数が落ち着いてきた8月、9月に近場に1泊したという方が多いことが確認されました。一方で、感染防止策を徹底した上で、10月、11月に遠方にも旅行されている方も少数ですが確認されています。出張で他県に行く機会も増えている様子です。

※近場の例
南知多、西浦、伊良湖など
※遠方の例
北海道、沖縄、軽井沢など



GoTo Eat



GoToEatの利用に関しては、景気モニターの方の態度は慎重な様子が窺えます。飲食部門の景況感回復のためにも、感染防止策が徹底されたお店で、楽しい時間を過ごしたいものです。

豊田景気実感調査 補正版

Viewing over Our Toyota's Economic Condition



第19号

発行日 2020.12.9

令和2年11月調査結果 “豊田の景況感、5月の底打ち後、緩やかに持ち直しの様相”

	現状判断D I				先行き判断D I				水準判断D I			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	43.4	51.1	55.3	47.1	38.0	47.1	52.6	42.5	26.1	34.8	34.2	29.9
全国	44.4	48.1	48.1	45.6	35.1	39.7	38.2	36.5	38.0	36.1	34.1	37.1
東海	44.6	—	—	46.6	33.4	—	—	35.8	33.9	—	—	35.7

※全国、東海は内閣府 11月調査【天気図の見方】D I値 大きな晴れ：60点以上／ 晴れ：50～60点未満／ 曇：40～50点未満／ 雨：40点未満

令和2年11月 調査結果総括 （全国の11月調査結果が12月8日に公表されたため、再度、総括しました）

豊田の現状の景況感は、コロナ禍の影響により5月に底を打った後、自動車生産台数の回復などを背景に、緩やかなペースではあるものの、持ち直している様子が窺えます。

先行きの景況感については、自動車関連で前向きな状況が確認されるものの、家計部門にてコロナ禍の影響が長引くことを前提とした先行き不透明感を指摘する声が多く、依然、厳しい見方をされている様子が窺えます。

一方で部門別に見て目立つのが雇用部門です。雇用部門においては、好調とされる自動車関連に引っ張られる形で、求人数が微増しているといった声が挙げられており、景況感の横這いを示すDI50を現状判断と先行き判断の双方で上回る結果となっています。全国比で見てもコロナ禍にあった5月に雇用部門では景況感の底を打った様子が鮮明になっています。

尚、現状判断と先行き判断については全国比優位な景況感となっていますが、足元の景況感を示す水準判断は劣位となっており、新型コロナウイルス感染症の再拡大が、豊田の足元の景況感に強い下押し圧力を生じさせている様子が窺えます。

いずれにしろ、今後のコロナ禍の状況次第という見方が、豊田の景況感判断における過半を占めていることが確認されました。

本調査開始以降、調査結果の早期公表のため、11月調査であれば10月の内閣府「景気ウォッチャー調査結果」と比して取りまとめておりましたが、今回のように1ヶ月で景況感が大きく変化する状況が今後も確認されることを想定し、公表時期は少し遅れますが、調査月を内閣府と合わせることに致します。

1. 調査期間：令和2年11月2日～25日

2. 調査客体：297名（家計/企業/雇用等） うち有効回答：253名／有効回答率：85.1%

3. 調査項目：・2～3ヶ月前に比べ現在の景気はどう変化したと感じますか？ ⇒ 現状判断D I
・2～3ヶ月前の景気は現状に比べてどう変化すると予想しますか？ ⇒ 先行き判断D I
・現在の景気的水準をどう判断されますか？ ⇒ 水準判断D I

<問い合わせ先>

豊田商工会議所：伊藤

0565-32-4594

豊田信用金庫：高橋

0565-36-1384

4. D I算出方法：

評価段階		5	4	3	2	1
評価	現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
	水準判断	良い	やや良い	どちらでも	やや悪い	悪い
付与点数		1	0.75	0.5	0.25	0

各判断項目毎に、評価段階別の回答者数構成比（100%比）を出し、その構成比に上記の付与点数を掛け、合計します。それがD I値です。

本調査は、豊田市に居住または勤務されている個人の方で、家計、企業、雇用の動向を敏感にキャッチ出来る方を対象に、身の周りの景気の実感を聞く調査です。内閣府の「景気ウォッチャー調査」（こちらは毎月実施）に準じて、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協働し半年に1回（5月／11月）実施しています。また、家計は小売、飲食、サービス、住宅、企業は製造、非製造業から成ります。なお、本調査では別に特別調査を実施しています。

<調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。>